

# 修了生の活躍事例

インタビュー日：令和7年11月13日

## テクニカルメタルワーク科

### 学び直してから就職したいと思って受講しました

これまで食品関係の会社で製造や販売の仕事をしてきました。前職では正社員として働いていましたが、職場の雰囲気や仕事内容が自分には合わないと感じ、短期間で退職することになりました。

その後、視野を広げて新しい仕事を探す中で、「未経験の分野にいきなり飛び込むより、まずは学び直してから就職したい」と考えるようになりました。

そんなとき、夫からポリテクセンターの職業訓練について教えてもらい、興味を持ちました。数あるコースの中でも、フォークリフトの資格が取得できるテクニカルメタルワーク科に魅力を感じました。ものづくりに興味があったこともあり、「ここで学びたい」という気持ちはすぐに固まりました。ポリテクセンターを知ってから受講を決めるまでのスピードは、自分でも驚くほど早かったです。

### 意外にも溶接が楽しかったです

訓練を受けて一番の発見は、溶接が意外にも楽しかったことです。最初は金属を炎で切るガス切断をやって、その迫力にびっくりすることもありましたが、溶接作業が少しずつできるようになっていくことはやりがいに感じました。

一方でフォークリフトは、取り組む中であまり得意じゃないなと知れたことも、仕事をする前に知れてよかったと感じています。

株式会社 熊野製作所

堀池 杏子 さん

令和7年3月 入所



### 受講して、できることが広がりました

熊野製作所に就職することになったきっかけは、求人票に「未経験でも丁寧に教えます」と書かれていたことです。見学に行った際も、工場長から「やる気さえあれば教えますよ」とお話しいただき、ここで頑張ってみようと思いました。

働き始めると、訓練でやったことよりも難しいことばかりで、「全然できない」といつも悔しい思いをしています。それでも、できるようになると評価してもらえることはやりがいにつながっています。また、訓練で学んだ機械の機能や操作方法は、機械が違っていても、応用ができるので、訓練を受講していてよかったなと感じています。今後はまず今の現場で、「平面が取れる」的を得た溶接ができるようになりたいです。

何も知らないより、ポリテクセンターで少しでも知識を入れておくだけで、就職してからの仕事の理解が違出し、できることの幅も広がると思います。迷ったらぜひ、受講してほしいです。

## 就職先企業での活躍

### 堀池さんの業務

堀池さんは、現在半自動・TIG・レーザー溶接など幅広い溶接作業に挑戦中です。入社して2ヶ月、「できないことが多くて悔しい」と話していましたが、できないことは認め相談したり、自分なりに試行錯誤をしているそうです。



### 採用者の声 総務課 木村 様

堀池さんは、面接でお会いした時から溶接をやっていくというやる気のある方だと感じました。また、ポリテクセンターで技術を学んできているということも、すぐ戦力になってくれるという期待も持てました。

ポリテクセンターで学んで、「ものづくりが好き」という気持ちをしっかり伸ばしていただきたいと思います。



### 株式会社熊野製作所（富山県砺波市）現在ポリテクの修了生2名が活躍

昭和55年に、大手アルミ建材メーカーの板金加工を主体として創立。現在は、「信頼と責任ある企業を目指す」を理念に、工作機械力バーや住宅外装部品、防音力バーなど、多様な製品を高品質で地域に提供しています。（製品例）

- ・機械力バーの設計製作、サブアッセンブリ
- ・自家発電装置用防音力バー等

